

# 知的生産の技術7 991122

いつも感じることは  
将来本当に自分の  
つきたい職に  
つけるのだろうか？  
ということ。それは  
まだ努力すると  
いうことを  
始めていないから

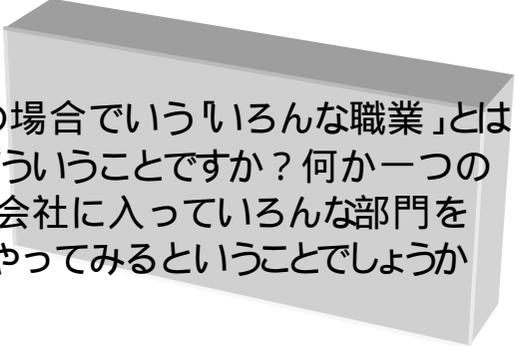
自己満足が  
大切という  
言葉にとても  
魅力を感じた

大学時代って言われても  
まだまだ始まったばかり  
でも8分の1は終わったんだ  
なあって思いました  
だらだらした生活から  
来年度は抜け出せそう

ひと仕事の成功する要素や  
過程を聞き納得した  
仕事において成功を  
収めている人達は  
先生の言った要素を  
満たしているのだと思った

将来、様々な人と  
仕事をして  
成長したいと思った

“問題解決には  
手が必要”  
という言葉が  
痛かった



この場合でいう「いろんな職業」とは  
どういうことですか？何か一つの  
会社に入っているんな部門を  
やってみるといことでしょうか

夢はあるのに  
大学に入ってから  
何もしていない自分が  
今ここにいた  
ほな、これからは  
まじめに  
授業に出たいと  
思っちょります

今現在、「何かやりたい」と思っている  
でも、どうしたらいいのかわからず  
私の中で葛藤が起こっている

大学生活のことに  
ついては  
よく思い出せた

達成感を感じる

中学の時の友達で  
いっしょに生徒会とかやっていると  
今でもいい関係であると思った

今のこの状態を打破しないと  
残りの約三年間も与えられたルマを  
こなすだけで終わってしまいそう

リーダーの条件で  
“全体の構造を把握し…”  
とあったが、それが難しい

大学時代は大きな転換点に  
なっていることに気づいた  
もっと多くの経験・体験を  
したいと思う

自分が今熱中しているものが  
これといって特にない事を感じた

振り返ってみると8ヶ月間に  
結構いろいろなことが  
あったと気づいた

# 知的生産の技術7 991122

緊迫感がないと  
墮落する」  
という言葉、  
身にしみました

ダラダラした  
大学生活を  
送っていることに  
気づいた

「どうすれば創造的な  
事業を起こせるか」を  
自分なりに考えました

宗教家のように問題を  
見つけていきたい

濃い  
半年間  
だった

たいした  
大学生活  
してないな  
と痛感した

仕事は真剣に  
考えて選ぼうと  
最近つくづく感じます

「あの人らしい仕事」  
と呼ばれることは  
本当に大変なことだと思う

この大学に入って  
よかったと感じた

今回配られた先生の自分史は  
前回のものに比べて  
自由にのびのび書かれていて  
読んでいて楽しかった

大学生活は現在のことなのに  
なかなか書けなかった  
今までの生活が何も残って  
ないんじゃないかと不安になった

「ひと仕事」初めから  
終わりまですると  
「達成感」 自信に  
つながる

積極的に  
物事に  
取り組んで  
いきたいと  
思いました

大学時代は一年も過ごしていないのに  
とても沢山の出来事があり  
充実していたと思いました  
やはり自分の意思でやったことが  
多かったからかなあと思いました

自分から行動を起こさないと  
何も変わらない。  
痛みを伴うかもしれないが  
変わりたい自分が当たり前  
になれば、さらにステップアップ  
できるものだと思う



このことがすごく  
大切なような気がした  
今日の授業は  
とてもよかった  
自分への活力となった

あまり  
思い出され  
なかった

大学実行委員を務めました  
大きく成長したように思います  
創造的な仕事の三要素がそろった状態で  
物事をこなしていたからだと分かりました  
「達成 やりがい 生きがい」は確かに  
そうだと大学祭を振り返って思いました

# 知的生産の技術7 991122

私が好きな人ができると  
脳ミノが創造的になるような  
仕組みになっていると思う

生きがいまで  
たどりつくには  
長い時間が  
必要だと分かった

仕事ひとつとっても  
心がけ次第で  
全く違うのだと驚いた

自分からは動いていなかった  
これからは自分から  
変化していこうと思った

一つ一つに挑戦的に臨み  
人生のチャンスを  
増やしたいと思った

より多くのものに  
チャレンジしたいと思う

人がどういう行動をとれば  
どう感じるかなどを  
理論的に考えている話を  
聞いてすごいと思う反面  
むなしく感じたりもした

能率手帳を探して、  
時間が明確にのっているもの  
一つにやっと決めることができました  
ですが、12月13日からしか使えないので  
早く使い始めたいものです。ワクワク

最後まで自分で  
ひと仕事をするという経験を  
もっとしないと感じた  
先生や先輩からこうすると  
いいよと勧められたことを  
即実行できる人になろう

2000年が近いのためか  
最近自分も切実に  
なっている

このままでは  
いけないと思う

人脈の大切さを改めて知った  
これからの「ひと仕事」と  
いうものを大事に、かつ  
創造的にこなしていきたい

人はだれでも何かに  
少しずつ影響されつつ  
生きていくのだろう

全体の動きを  
把握できるような  
資料を作り  
それをもとに  
人を動かすということを  
将来に生かしたい

大学に入った理由を  
改めて考えさせられた

人材、あるいは後継者を  
育てておくことが重要だ

自分が大きくなったと  
感じたことが何度もあるので  
先生の話に共感できた  
生きているプロセスすべてが  
自分なのだと考えるようになった

大学時代のことは「今続いていること」  
「今考えていること」ばかりなので  
とても書きづらかった

# 知的生産の技術7 991122

人脈を大切にしていけることが重要だということを知りました

大学に入ってから影響を受けた映画・音楽・本がなかなか思いつかなかった

未だに明確に何かをやり遂げたというものが何一つないということに気づいた。もう三年しかないということを念頭において一日一日を大事に生活していかなければならないのではないかと思った

自分らしい仕事をするためには自分を忘れるほど頑張らなければいけないということが分かった

何か新しい形でまた挑戦していこうという気持ちを持ちつづけることが大切なのだと思うようになった

創造的作業が少なくなっているように思った

先生のこの授業を通し毎回、毎回じっくりと考え自分史が出来上がるころにはその答えも出せばいいなあと思っている

いい仕事をするのは今の私ではまだ難しいと思った。ひと仕事するにも沢山の段階があるのでいろいろな経験を沢山しないと駄目だと思った

生きがいとは何かやりがいとは何かを考えるようになりました

授業の課題にも今日の「ひと仕事」を生かそうと思った時間を大切に過ごしたいもちろんAタイムにAランクで

この一年はあっという間だったような気がするしかし逆にまだ一年と思うとそれも不思議な感じがする。大学に入ってから今まで経験したことのない出来事が沢山ありすぎて驚いたと同時にこんな世界もあるのだということが分かって嬉しい。自分をもう一度よく見つめ直し「自分」という確固たる存在を探していきたいと思う

仕事を達成するのに6つの要素が必要であるというのが面白かった

仕事に「自分らしさ」が出ることが大切だという話になるほどなと思いました

約7ヶ月が過ぎたが今までとは違う濃度の濃い生活だった

大学に入って、今まで何をしてきたのだろうと考えたら何もしていない気がする経験というものをもっと作るべきだと実感した